

10. 古町通7番町地区市街地再開発組合（古町通7番町地区第一種市街地再開発事業）

当地区が位置する「古町（ふるまち）」は、江戸時代に北前船の日本海側最大の寄港地である新潟の中心として栄え、堀と柳、古町芸妓と料亭に代表される花街文化が繁栄した、市の歴史・文化を象徴する地区であり、明治以降も市の中心商業地として県下随一の賑わいを誇っていた。

しかし、高度成長期以降、モータリゼーションによる市街地の拡散や、郊外の大規模店舗出店などの影響を受けて衰退してきており、平成20年のリーマンショックにより、平成21年に当該地区のシンボルであった老舗の地方百貨店（大和新潟店）が撤退を発表したことを契機に、地元地権者による本事業の検討が始まり、平成24年5月に準備組合が設置されて地元地権者を中心に検討が進められ、平成28年に組合設立、事業計画認可となった。

本事業による商業・業務施設の更新と公益施設（市役所）、専門職大学キャンパス誘致により、流入人口の回復、低迷が続いていた古町地区の賑わいが創出され、市街地活性化に貢献している。

また、都心軸側にイベント等に利用できる屋外広場を配置し、全面の屋根により冬期間や悪天候時にも賑わいの発信を可能とするとともに、地下商店街にアクセスする通路を整備することで、回遊性の向上、広場の賑わいが地下街を介して広範囲に波及することを目指したものとなっている。

再開発ビルの意匠は、「祭り櫓」をモチーフとし、張り出したガラスとダイナミックな壁面パターンで、まちなかの新たな顔として、古町地区のまちなかの賑わいの創出、市街地活性化に繋がることが期待されている。



上段・中段：施設建築物全景 下段：上空より

事業推進体制

| | |
|---------|-----------------|
| コンサルタント | (株)アル・アイ・エー |
| 建築設計 | (株)アル・アイ・エー |
| 建築施工 | 本間組・国際総合計画共同企業体 |
| デベロッパー | 日生不動産(株) |
| 特定業務代行者 | 本間組・国際総合計画共同企業体 |

事業概要

所在地：新潟県新潟市 地区面積：約0.8ha
 事業経過：都決 H27.12/完了 R4.03
 施設概要：S造 地上12F 延床32,840㎡
 業務(9,972㎡)、商業(5,503㎡)
 公共・公益（(市役所)12,059㎡）、駐車場(152㎡)
 その他（(学校等)5,154㎡）